

372 Clinical RI perfusion lymphangiography

佐貫栄一, 鎌田力三郎, 佐藤勝彦, 高島宏幸,
吉田克哉 (日大・医・放)

昭和55年2月から現在迄に経験したClinical RI perfusion lymphangiography 30例について検討した。

方法は、リンパ造影の際、造影剤注入直前にRI (Tc-99m-HSA, または-MDPなど) をリンパ管に直接注入した。

本検査は短時間で終了し、リンパ造影にさしたる影響を及ぼさなかった。通常のリンパ造影に比較してリンパ流の検索に適していた。また浮腫、鎖骨上リンパ節転移および骨転移症例などで通常のリンパ造影では把握できない有用な所見を認めた。なお、さしたる副作用は認めなかった。但し、リンパ系とくにリンパ節像の詳細な検討は通常のリンパ造影によらざるを得なかった。

よって、本検査はリンパ造影実施の際に造影剤注入に先んじて施行することにより、リンパ系などの screening studyとして有用であると考えた。

373 下肢リンパ流の核医学的動態的観察 —第2報—(^{99m}Tc-HSAと^{99m}Tc-Renium Colloidの比較)

東邦大学医学部第3内科

廣田彰男, 新井 功, 渡部純郎, 境 敏秀,
矢吹 壮, 関 清,

東邦大学医学部附属大橋病院核医学検査室
星野光雄, 楠谷 昇,

下肢リンパ流動態観察のため,^{99m}Tc-human serum albumin(以下HSA)によるRI-Lymphographyを施行し、最近常用されつつある^{99m}Tc-Renium colloid(以下Renium)との比較検討を行なった。

対象は各種疾患患者20数名で、前脛骨部皮下にHSA又はReniumを注入し、大腿各部及び鼠蹊部でのtime activity curveを求めた。

その結果、ReniumはHSAに比し、リンパ管像やリンパ節像の鮮明度が優れ、形態学的な目的には適していると思われた。しかし、動態的な目的には、HSAでは下肢リンパ流を比較的良好に反映したtime activity curve が得られたと思われるのに対し、Reniumではリンパ流の亢進が考えられない症例においても異常な増加を示すものが見られ、非生理的物質であるRenium注入による過剰なリンパ管刺激が引き起こされている可能性が考えられた。従って、リンパ管の動態的観察においては、より生理的物質であるHSAが適していると考えられた。

374 リンパ浮腫症例のリンパシンチグラフィ —^{99m}Tc-HSA皮内注射による検討—

大竹英二, 松井謙吾, 勝俣康史, 小林洋二,
朝倉浩一, 小野 慈, 野沢武夫, 氏家盛通,
(横浜市大・放)

我々は第42回日本医放学会総会において、^{99m}Tc-HSAの皮内注射によるリンパシンチグラフィがリンパ系のdynamic studyに適した方法であることを報告した。そこで、今回は本法により、リンパ浮腫症例の検討を行ない興味ある結果を得たので報告する。

^{99m}Tc-HSAを一側につき5～10mCi皮内注射し、Searle社製PHO/GAMMA LFOVIにより2分毎30分までの連続イメージを撮影した。同時に、on lineで接続したVarian社製コンピュータシステムVARICAM IIへ、30秒毎、30分までデータを入力し、リンパ管、リンパ節などの時間・放射能曲線を作成した。その結果、本法は従来の放射性コロイドによる方法に比べ、リンパ系の障害部位が一層明瞭となり、側副路の発達程度の観察も容易であった。また、リンパ浮腫の高度な症例では静脈系の描出が早期にみられた。

375 乳び尿のリンパシンチグラフィ

勝山直文, 三浦健太郎, 大嶺 広海, 外間之雄,
大田 豊, 中野政雄(琉球大 放)
仲山 実(琉球大 泌), 中富昌夫(琉球大 1内)

乳び尿の腹部リンパ系異常の画像診断には従来、リンパ造影の有用性が確認されているが、その手技が困難なこと・頻回に行なえないことが欠点である。そこで我々は比較的簡便なリンパシンチグラフィを乳び尿の画像診断に応用し、その有用性を認めたので報告する。対象はフィラリア症後の乳び尿症14例で、^{99m}Tc-レニウムコロイドを左右の足背に0.5～1mCi皮下注射し、注入より1・5時間後にガンマカメラにて撮影した。また5例にはリンパ造影も併用した。

(結果) ①5例(10腎)のリンパ造影とリンパシンチの一致率は、腎へのリンパの逆流所見と、腎基リンパ管の拡張所見では、それぞれ90%・80%であった。②14例の乳び尿症のリンパシンチグラフィでは、2例をのぞく12例で腹部リンパ系異常の画像診断が可能であった。

(結語) リンパシンチは乳び尿の腹部リンパ系異常の画像診断に有用であり、その簡便さのため、乳び尿の診断手段として広く応用されることが期待される。